

「H3」2号機、衛星載せず打ち上げへリスク抑え性能確認

2023/5/25付 | 日本経済新聞 朝刊

国の次世代大型ロケット「H3」について、文部科学省は24日、2023年度後半にも打ち上げを予定する2号機に観測衛星「だいち4号」を搭載しない方針を決めた。初号機の打ち上げ失敗を踏まえて、当初計画を変更する。失敗した際のリスクと悪影響を抑えつつ、早期の打ち上げ成功を目指す。

文科省は24日に開いた専門家会議の「宇宙開発利用部会」で2号機に関する運用方針を報告し、了承を得た。2号機にはロケットの性能を確認するデータを取得する機器などを搭載する方向に改める。

3月に宇宙航空研究開発機構（JAXA）が実施したH3初号機の打ち上げでは国の観測衛星「だいち3号」を搭載していたが、打ち上げに失敗した。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.